

新市長に奥ノ木氏

市議会議員には稲垣氏が当選

川口市長選挙と川口市議会議員補欠選挙は、2月9日午前7時から投票が行われ、即日開票されました。その結果をお伝えします。

川口市長選挙

全市域94カ所の投票所で投票が行われ、奥ノ木信夫氏(62歳)が51,036票を獲得し当選しました。今回の選挙による任期は、平成26年2月9日から平成30年2月8日までの4年間です。

投票者数と投票率

当日有権者数		投票者総数	投票率
男	231,869人	63,166人	27.24%
女	223,796人	61,311人	27.40%
合計	455,665人	124,477人	27.32%

候補者別得票数(本名・得票順・敬称略)

※無効票は含みません

候補者氏名	第1開票区	第2開票区	合計
奥ノ木信夫	31,614票	19,422票	51,036票
田中 千裕	20,770票	20,003票	40,773票
峯 理美子	8,742票	7,647票	16,389票
近藤 豊	7,431票	6,668票	14,099票
合計	68,557票	53,740票	122,297票

経歴



川口市長
奥ノ木 信夫 氏

昭和26年4月29日生まれ
昭和50年3月 早稲田大学法学部卒業
会社役員
平成3年4月 川口市議会議員初当選
平成7年4月 埼玉県議会議員初当選
平成11年4月 埼玉県議会議員再選
平成15年4月 埼玉県議会議員3選
平成19年4月 埼玉県議会議員4選
平成21年3月 埼玉県議会議長(第111代)就任(~平成22年3月)
平成23年4月 埼玉県議会議員5選
平成26年2月 川口市長初当選

川口市議会議員補欠選挙

合併前の旧川口市域81カ所の投票所で投票が行われ、稲垣喜代久氏(49歳)が65,338票を獲得し当選しました。今回の選挙による任期は、平成26年2月9日から平成27年5月1日までです。

投票者数と投票率

当日有権者数		投票者総数	投票率
男	206,108人	56,364人	27.35%
女	198,954人	54,958人	27.62%
合計	405,062人	111,322人	27.48%

候補者別得票数(本名・得票順・敬称略)

※無効票は含みません

候補者氏名	第1開票区	第2開票区	合計
稲垣喜代久	34,513票	30,825票	65,338票
窪川 淳	18,064票	19,505票	37,569票
合計	52,577票	50,330票	102,907票



川口市議会議員
稲垣 喜代久 氏

自由民主党
青木5-2-22
会社役員



「みんなでつくる川口の元気」を スローガンに 全力で取り組みます。

川口市長 おくのき 奥ノ木 のぶお 信夫

川口の元気づくり 政策宣言30

人々の元気

人を育み誰もが生き活きと活躍できる元気なまちへ

- 1 子育て・保育環境の充実
- 2 小・中学校全教室へのエアコン設置
- 3 いじめ根絶に向けた取り組みの強化
- 4 通学路の安全対策の推進
- 5 市立高等学校3校の再編・統合
- 6 「日本一のボランティアのまち」の実現

産業の元気

新時代に対応した戦略的な産業振興による元気なまちへ

- 7 商店会や地場産業の活性化
- 8 中小企業制度融資の充実
- 9 「川口ブランド」の創出・発展
- 10 「SKIPシティ」の活性化
- 11 全国自治体の推進役として都市農業を振興
- 12 産業・文化・歴史を観光資源とした誘客事業の推進

くらしの元気

生涯をとおして安全・安心にくらせる元気なまちへ

- 13 市保健所の設置
- 14 子ども医療費に係る完納要件の緩和
- 15 広域小児救急医療の充実
- 16 (仮称)川口市火葬施設の建設
- 17 地域の防災・防犯体制の充実強化
- 18 エネルギーリスクに強い都市を目指す
「かわぐちグリーン・エナジー戦略」の推進

まちの元気

うるおいと賑わいのある元気なまちへ

- 19 郊外地域の都市基盤整備の促進
- 20 市の施設を効率的に維持管理する施設マネジメントの推進
- 21 老朽化した市庁舎の建て替え
- 22 スポーツ施設の充実
- 23 (仮称)赤山歴史自然公園の整備
- 24 緑化事業の推進

みんなの元気

みんなの知恵と力で温もりのある元気なまちへ

- 25 市税収納率の向上
- 26 さらなる行財政改革の推進
- 27 「自治基本条例」を尊重した市政運営と市民自治の確立
- 28 職員の意識改革の推進
- 29 「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」の開催
- 30 拉致問題解決に向けての支援強化

市民の皆さんへの質の高いサービス

その第1は「個性を活かし自立した地方自治の実現」です。

私は、これまで「公平公正であること」そして「弱いところに光をあてる」、この2つを政治信条として地方自治に携わってまいりました。そして、新たに「みんなでつくる川口の元気」をスローガンに、「人々の元気」「産業の元気」「くらしの元気」「まちの元気」「みんなの元気」の5つの「元気」をキーワードとし、30項目からなる政策宣言の実現に向けて、市民生活の安定と中小企業の経営安定を念頭に置きながら、市政運営に全力で取り組んでまいります。私は、4つの基本姿勢で「川口の元気づくり」を進めていきます。

その第3は「政策提言型議会への期待」です。

本市では、すでに議員提案による

その第2は「財政力に見合った市政運営」です。
本市では、大型プロジェクトをはじめ超高齢社会への対応など、財政支出を伴う行政課題が山積しています。自主財源の確保に努めるとともに、市民の皆さんの視点に立ち、本市の財政規模に見合った市政運営に努めます。

その第4は「住民本意・市民参加型市政の推進」です。

「川口市中小企業振興条例」が制定され、市内中小企業の振興に大いに寄与しています。川口のさらなる発展のために議会と行政が互いの知恵を結集した市政運営に取り組みます。
市民と行政が互いの立場や考えを尊重し合い、価値観を共有し、それぞれの役割を果たしていきけるよう、市民が市政に関心を持ち、市民と行政の相互信頼によるパートナーシップを基本に、知恵と力を出し合い、まちづくりに参加していただきたいと考えています。

(3月市議会定例会 施政方針より抜粋し、要約したものです。)